

令和4年度

第1回在宅医療・介護連携推進協議会

会 議 録(要旨記載)

日時:令和4年6月30日(木)午後1時30分～

会場:湖西市中央図書館 2階 学習研修室

1 出席者

<委員>

伊 藤	健	(浜名医師会)
鈴 木	隆	(浜名医師会)
伊 藤	慎 一	(浜名歯科医師会)
塩 野	州 平	(浜松市薬剤師会)
内 山	大 輔	(介護老人保健施設まんさくの里) Web参加
鈴 木	織 江	(浜名病院地域医療連携室)
夏 目	志津子	(市立湖西病院在宅支援室) Web参加
前 田	幸 代	(訪問看護ステーションはまな)
内 藤	加代子	(地域包括支援センター湖西白萩)
浅 井	恵 子	(ケアプランセンター陽菜)
稲 本	直 子	(サンシティあらい)
吉 田	朝 子	(湖西市社会福祉協議会 介護センターこさい)
藤 田	周 子	(有識者 湖西市医会 医師)
山 下	いづみ	(有識者 浜松市医師会)

<事務局>

阿 部	祐 城	(健康福祉部高齢者福祉課長)
尾 崎	里佳子	(健康福祉部高齢者福祉課保健師)
松 井	美智子	(在宅医療・介護連携支援センター相談員)
村 越	正 代	(健康福祉部健康増進課長)

2 会議次第

1 開会 挨拶

2 議事

- (1) 令和4年度在宅医療・介護連携推進事業実施内容について ……資料 1
- (2) 連携体制の検討について ……資料 2
 - ① 「現状分析及び達成される目標」と死亡原因と訪問診療の疾患別データ報告
 - ② 「強み・弱み」課題の進行管理について
- (3) 令和3年度連携支援センター縁 活動報告について ……資料 3
- (4) 令和4年度多職種研修会及び市民向け講演会について ……資料 4
- (5) その他
新規訪問看護ステーションについて

3 次回案内

次回 9月 29 日(木) 予定

3 会議内容

開始 13 時 30 分から

開会	
1 あいさつ	高齢者福祉課長)、湖西市在宅医療・介護連携推進協議会を開会します。議事の進行については伊藤先生お願いします。
2 議題	
(1) 令和 4 年度在宅医	事務局説明 資料 1)
療・介護連携推進事業	概略図にあるように現状分析・課題抽出・施策立案、対応策の実
実施内容について	施、評価、改善を繰り返しながら、切れ目のない在宅医療と介護
	の提供体制の構築を目指していきたいと思う。2 ページ目以降は
	湖西市の取り組み状況であり、☆印は医師会へ委託している項目。
(2) 連携体制の検討につ	事務局説明 資料 2-1 ～ 2-4)
いて	資料 2-3 に湖西市の在宅医療・介護の「現状分析及び達成される
①「現状分析及び達成さ	目標」の記載があり、赤字部分が情報を更新した部分。達成され
れる目標」と死亡原因と	る目標にはシズケア加入数が増えるを追加した。
訪問診療の疾患別データ	目標に対する推移については、資料 2-4。認定者数は 2022 年 2
報告	月末が最新データとなり、認定者数 2141 人、認定率は国 18.8%、
	県 16.6%、市 12.8%。
	続いて、前回の協議会で意見が出ていた死因と訪問診療の疾患別
	データをまとめたものを提示する。資料 2-1 については人口動
	態統計よりみたもので、令和元年の死亡数及び死因系統別上位割
	合である。死因の第 1 位は悪性新生物（がん）、2 位は高血圧症を
	除いた心疾患、3 位が老衰であった。
	続いて、資料 2-2。令和 3 年 4 月の訪問診療等のレセプトデータ
	（後期高齢者のデータ）を分析したところ、在宅の訪問診療につい
	て、市内医療機関がほぼ担っていることがわかる。下の図は、疾
	患別内訳を示しているが、1 番多いのが循環器系、2 番目は内分
	泌、栄養及び代謝疾患、3 番目が呼吸器系であった。
	資料 2-1 及び 2-2 の結果を見ると、がんとがん以外の両方の連

携方法について検討していく必要があると感じた。

伊藤会長) 質疑応答はないか。

前田委員) 資料 2-3 強み弱みの表が年々改善されていくと良いと思うが R 2~4 年を比べてみるとほぼ変化がない。たとえば、訪問リハビリについて需要に対応しきれていないとあるが、どこからでてきたものか。事業所として断ったことはない。

事務局) 過去の協議会の中ででたもの。訪問リハビリ事業所もでき、訪問看護事業所で訪問リハビリもして対応事業所は増加している。強みに変更できるかもしれない。

藤田委員) 市外が案外多いのは、集合住宅等をみているからか。本来診たいのが在宅 1 件 1 件を診ていくのか、集合住宅等を含まれるのか。

前田委員) 数的なことを踏まえると在宅死亡について去年も今年も変化していないが。

事務局) 記載データは 2018 年の人口動態統計のもの。最新データが拾えるか確認してみる。

山下委員) 人口動態統計も毎回毎回新しいものが出てくるとは限らない。何年かに 1 回しか統計をとらないものもある。

前田委員) 湖西市が、力をつけているのか無理なのか判断していく資料となると思う。どこをどういかせばよいのか。在宅死亡率、在宅看取り率、在宅医師の数、レセプトの件数か。

事務局) 強み弱みの達成される目標でいくと、訪問診療自給率を上げるというのがある。それが、しばらくの間家で過ごす期間のみか、最終的な看取りまでを支えていくのかによって体制の作り方が変わっていくと思う。

伊藤会長) 薬剤師がもとめられる在宅医療についての役割や現状についてはどうか。

塩野委員) がん患者への訪問を求められることが多い。統計的に

②「強み・弱み」課題の
進行管理について

は非がんが多いが湖西市としてはどうしていくのか。

伊藤会長) データでは、非がんが多いが、退院時はがんの依頼が多い。最期まで在宅で見た例は私にはなく、豊橋医療センター及び市立湖西病院の緩和医療に繋げることが多い。問題は、麻薬の受注と管理。対応できる薬局と太田先生のような相談相手がいれば可能になるかもしれない。

藤田委員) 同一建物内とは、住まいとしては家と同じだが、住み慣れた家とは違う。在宅医療としてはどこらへんを指すかがもう少し絞れると良い。

伊藤会長) なかなかデータを中心に語るのは難しい。引き続き継続していきたい。太田医師の研修もあるため、それをかわきりに検討していきたい。

事務局説明 資料2-5)

資料2-5に弱みをA～Eに分類し、現在の取り組み状況を記載してみた。弱みを強みに変えていくために、優先順位や取り組み方法について協議会で検討していきたい。項目として一番弱みが多いのはCの資源関係かと思う。委員の皆様にご意見をいただきたい。

伊藤会長) Dの4在宅死亡率が県より低いあまり意味がないと思う。意見はあるか。

前田委員) Dの2、3について、こさい高齢者プランに最期を迎えたい場所など細かく載っていた。サービスについても細かく載っていたと思う。

高齢者福祉課長) 今年度また統計をとる。5～6個くらいの質問は市の独自項目が入れられるため反映させられたらと思う。

伊藤会長) 最近入浴サービスがフル稼働しないと採算がとれないと言われているがどうか。

吉田委員) 訪問入浴は市内1か所。現在は人材不足で車は2台あるが、1台しか稼働していない。

内山委員) 最近、受診時に介護タクシーを利用したくても予約が

	<p>とれず困るケースが出ている。市内の需要と供給のバランスはどうか。湖西市として何か方法は・・・と思う。</p> <p>山下委員) 定期受診に介護タクシーを利用したいと思うがなかなかつかまらないということか。</p> <p>事務局) 介護認定者の利用は難しい部分もあるかもしれないが、移動手段のことで、生活支援整備体制事業の中で検討をしている。</p> <p>藤田委員) Aの連携協働で、非がんはそれぞれの医院が対応できるかもしれないががんは現状としては孤軍奮闘している。専門的な医療を必要とする患者は、受ける側は専門的な知識をもった医師と連携しないと受けられない。数は少ないが数年前と比べ増えている現状にある。体制として市立湖西病院の太田医師とコミュニケーションが図れたり、距離的に近くなれると良い。</p> <p>夏目委員) 多職種研修で太田医師からも話があると思うが、緩和ケア外来に1度受診すれば、病状悪化時やレスパイト目的でいつでも入院が可能なシステムになっている。早期から受診をすることで関係性も作られる。シズケアのセキュアメールで太田医師やがん性疼痛看護の認定看護師とやり取りが可能になったため、いつでも相談はできる。直接相談が難しい場合には、在宅支援室を介してもらっても構わない。</p> <p>ターミナルの方が自宅で過ごす、また自宅でみていくことは不安も大きいと思うため、病状や精神的に不安な時は一旦入院して体調や体制を整えて自宅に戻ることも方法の1つと思うため、ぜひ病院を利用してほしい。</p> <p>伊藤会長) 7月21日太田医師の講演。弱みを強みにかえられるように進行中。ACPについても9月に市民向けを予定。</p>
<p>(3) 令和3年度連携支援センター縁活動報告について</p>	<p>事務局説明 資料3)</p> <p>昨年度新に、5月に“縁”たより・連携お助けブック購読状況アンケートを実施。結果、まず連携支援センターの認知、たよりの購読、連携お助けブックの活用が必要だと感じた。</p> <p>そこで、専門職の方々の興味を誘うような情報発信ができればと、22号たよりから、市内の介護保険事業所紹介等を始めた。また配信については、シズケア*かけはしのセキュアメールも利用。連携お助けブックの利用啓発を目的に各会議にも参加。</p>

	<p>今後連携支援センターが、多職種の方々に認知され、気軽に相談や在宅医療・介護連携推進に関する色々な考えや意見等をいただくことのできる窓口となるよう努力したい。</p> <p>伊藤会長）質疑応答はあるか。 一同）意見なし。</p>
<p>(4) 令和4年度多職種研修会及び市民向け講演会について</p>	<p>事務局説明 資料4)</p> <p>多職種研修の1回目は7/21に太田医師、市民向けは9/10に井上先生。</p> <p>伊藤会長）質疑応答はあるか 一同）意見なし。</p>
<p>(5) その他 新規訪問看護ステーションについて</p>	<p>事務局説明) 湖西市訪看が無くなり、2事業所立ち上がった。チラシ参照。</p>
<p>3 次回案内</p>	<p>伊藤会長) 次回9月29日(木) 予定。 第1回在宅医療・介護連携推進協医会を終了する。</p>